プレスリリース
PRESS RELEASE
2026/5/12

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

ぬけみち展

かわす・つくる・ともにいる―生きるための回路

2026 年 7 月 4[土]―8 月 30 日[日]



「ぬけみち展　かわす・つくる・ともにいる―生きるための回路」　メインヴィジュアル

プレスリリース
PRESS RELEASE
2026/5/12

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

概要

日常に、自分の線をひらく！

「未来は良くなる」と希望を見出すことが難しくなったいま。私たちの日常には、言葉にならない不安や閉塞感が静かに広がり、都市もまた、巨大な資本や人工物に覆われながら、均一な多様性へと最適化されつつあります。

「ぬけみち」は、このような目の前に広がる大きな道に対して、それぞれの手つきで別の回路を見出し、自身と社会をつなぐ新たなルートを立ち上げる「生きるための実践」です。

本展では、建築・ファッション・デザイン・演劇・ストリートカルチャー・現代アートの領域で活動する 7 組の作家たちの視点や実践を紹介します。それらを通して、ままならない社会のなかで、身近な環境や関係性に働きかけること、新たなつながりや行動の可能性をひらくこと、そして自らのまなざしを信じることなど、それぞれの方法から生まれる「ぬけみち」を探ります。

かつて商業施設であったアーツ前橋の空間は、別のルートへと分岐し、ときに交差し、広場のように広がりながら、日常の延長線上に「新たな道」をひらきます。作家たちの実践を通して、私たちの生活の中にある「ぬけみち」を探しにいきましょう。

開催概要

【展覧会名】ぬけみち展　かわす・つくる・ともにいる―生きるための回路
【会　　期】2026 年 7 月 4 日[土]－8 月 30 日[日]
【会　　場】アーツ前橋　1 階ギャラリー＋地下ギャラリー
【開館時間】午前 10 時－午後 6 時（入場は午後 5 時 30 分まで）
【休 館 日】水曜日
【観 覧 料】一般 800 円、学生・65 歳以上・団体（10 名以上）600 円、高校生以下無料
＊1 階ギャラリーは観覧無料　＊障害者手帳等をお持ちの方と付き添いの方 1 名は無料
＊7 月 20 日［月・祝］「海の日」、8 月 8 日[土]「多様な学びの日」は無料
【主　　催】アーツ前橋
【後　　援】上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばし CITY エフエム、
前橋商工会議所
【出展作家】阿部航太、高野ユリカ、SIDE CORE、坂本舞ニルセン、鈴木哲生、
ドットアーキテクツ、三野新＆山本卓卓

本展の見どころ

1）日常にひそむ「ぬけみち」を見つける、新しい視点

本展が提案する「ぬけみち」とは、単なる逃避ではなく、日常のなかに別のルートを見出すための視点や態度です。効率や合理性が優先されがちな社会のなかで、身近な環境をいつもとは異なる視点で見つめ直すことや、普段の生活では生まれにくい関係性をひらく実践など、日常の延長から立ち上がる多様な可能性を紹介します。

2）ジャンルを横断する若手 7 組の作家による多様なアプローチ

ストリートカルチャーを起点に「都市空間における表現の拡張」をテーマに活動するアーティストコレクティブ・SIDE CORE、文字デザインを通して言葉に宿る情緒を可視化するグラフィックデザイナー・鈴木哲生、現代社会の感覚に応答する劇世界を立ち上げる写真家／劇作家・三野新と劇作家／演出家・山本卓卓など、異なる分野で活動する 7 組の作家が出展します。都市とルール、身体と感情、テクノロジーと社会の関係に目を向けながら、「ぬけみち」を生み出す多様な実践を紹介します。

3）「つくる」根本を鍛える、参加型ワークショップ「アーキジム」を開催

大阪・北加賀屋を拠点に、「使い手自身の創造性を引き出す建築」に取り組む建築家ユニット・ドットアーキテクツが、会期中にギャラリー内でワークショップシリーズ「アーキジム前橋版」を開催します。来場者は作品制作に参加しながら、実践を通して「つくるための技術とマインドセット」に触れることができます。また、「自分でつくること」から見えてくる新たな生活や都市への視点をひらきます。



dot architects + adanda「アーキジム」（実施風景）2025 年

出展作家

阿部航太（アベ・コウタ）



撮影：加納千尋

デザイナー。1986 年、埼玉県生まれ。ロンドン芸術大学卒業後、廣村デザイン事務所を経て 2018 年より「デザイン・文化人類学」を指針に活動を開始。2018〜19 年でのブラジル都市部の路上文化の調査を経て、映画『街は誰のもの？』を発表。2020 年より海外に（も）ルーツをもつ人たちとの映画制作プロジェクト「KINO ミーティング」を展開。2022 年より高知県土佐市にて、外国人技能実習生と地域との交流拠点「わくせい」を運営している。

高野ユリカ（コウノ・ユリカ）



写真家。1987 年、新潟県生まれ。土地や歴史、建築や空間、個人の物語のリサーチから着想し、大文字の歴史：history: his-story に応答する her-story や、歴史に残ってこなかった無名の人々への想像をテーマに作品を制作している。主な個展に「REGARDING THE ECHO OF OTHERS」（横浜市民ギャラリー、2023）、「秋の日記」（日比谷図書文化館特別展示室、2024）など。

SIDE CORE（サイドコア）



アーティストコレクティブ。2012 年より活動を開始。東京を拠点に、ストリートアートを切り口とした展覧会やイベントなどの活動を展開している。メンバーは高須咲恵、松下徹、西広太志。映像ディレクターとして播本和宜が参加。公共空間におけるルールを紐解き、思考の転換、隙間への介入、表現やアクションの拡張を目的に、ストリートカルチャーを切り口として「都市空間における表現の拡張」をテーマに屋内・野外を問わず活動している。

坂本舞ニルセン（サカモト・マイ・ニルセン）



日本人／デンマーク人のデザイナー。1993 年、埼玉県生まれ。ファッションデザインの手法をもとに、既存の衣服を彫刻的な素材として扱う。管理や権力、均質化といった社会的意味を強く帯びる存在としての衣服に向き合い、それらを解体し、加工し、再構築することによって、こうした意味をいかに変容し、新たな物語へと開いていくかを探求している。主な作品に、軍服を再構築した《LOVEBOMB》（デンマーク・デザインミュージアム、2025）がある。

鈴木哲生（スズキ・テツオ）



グラフィックデザイナー。1989 年、神奈川県生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科を卒業後、隈研吾建築都市設計事務所勤務を経て、2015 年にデン・ハーグ王立美術アカデミー タイプメディア修士課程を修了。2024 年より多摩美術大学グラフィックデザイン学科非常勤講師。タイポグラフィからレタリング、ロゴ、イラスト、ウェブサイト、エディトリアルまで幅広い分野で制作。

ドットアーキテクツ



建築家ユニット。2004 年設立。大阪・北加賀屋にて、「もうひとつの社会を実践するための協働スタジオ」コーポ北加賀屋を拠点に活動。設計、施工のプロセスにおいて専門家・非専門家に関わらず様々な人との協働を実践している。設計だけに留まらず、現場施工、リサーチプロジェクト、アートプロジェクトなど様々な企画にもかかわる。現在のメンバーは家成俊勝、赤代武志、土井亘、池田藍、宮地敬子、勝部涼亮、小林明日香、倉橋風人の 8 名。

三野新（ミノ・アラタ）



写真家・舞台作家。福岡県生まれ。東京都と神奈川県を拠点に活動。2017 年東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。博士（美術）。周縁化された場所やもの同士の残された記憶や風景を繋ぎ、様々な「ここ」と「あそこ」の中間項を見つけ前景化させることをテーマに研究と実践を行う。主に写真・映像メディアを元にフィクションを作り、それを自分自身や他者の身体、様々なメディアを通して発表するなど、領域横断的に活動を行っている。

山本卓卓（ヤマモト・スグル）



劇作家・演出家・俳優。演劇集団範宙遊泳代表。1987 年、山梨県生まれ。観客の倫理観を揺さぶる劇世界を、加速度的に変貌する現代情報社会とともに構築している。映画・文学・音楽・美術を素養に、アジア諸国・北米での公演・国際共同制作を展開。ニューヨーク「Under the Radar Festival」招聘参加。「Bangkok Theatre Festival 2014」最優秀脚本賞・最優秀作品賞、第 66 回岸田國士戯曲賞（『バナナの花は食べられる』）受賞。

プレスプレビュー

【期　　日】2026 年 7 月 3 日[金]
【時　　間】午後 2 時－ 6 時（※最終入場時間は午後 5 時 30 分まで）
※出展作家と担当学芸員が作品を紹介します。
参加ご希望の方は、右のＱＲコードもしくは
以下 URL からお申込みください。
https://logoform.jp/form/dWZu/1568655

関連イベント

＊イベント詳細、申し込み方法、そのほかの関連イベントについては、アーツ前橋 HP をご確認ください。　https://artsmaebashi.jp/exhibition_post/2026-nukemichi/

（1）「アーキジム前橋版」オープニングイベント

「つくる」根本を鍛える、ドットアーキテクツによるワークショップシリーズ「アーキジム前橋版」の始動に向けて、作家本人がプロジェクトの解説を行うトークイベントです。

【日　　時】7 月 4 日[土]　午後 2 時－3 時 30 分
【会　　場】アーツ前橋　地下ギャラリー
【定　　員】20 名（事前申込）
【参 加 費】無料　＊当日の観覧券をご提示ください。
【申込方法】HP の専用フォームからお申込みください。
＊8 月 8 日[土]、9 日[日]、29 日[土]、30 日[日]にご来館のお客様は、展示室内でアーキジム実施風景をご見学いただけます。

（2）『街は誰のもの？』上映会＆トーク

ブラジルのストリートカルチャーを文化人類学とデザインの視点から捉えた阿部航太監督によるドキュメンタリー映画『街は誰のもの？』の上映と、トークを実施します。

【日　　時】7 月 11 日[土]　午後 1 時－3 時 30 分（受付開始は 12 時 30 分）
【会　　場】前橋シネマハウス
【ゲ ス ト】阿部航太×杉本篤（映像作家）
【定　　員】55 名（事前申込）
【参 加 費】無料　＊展覧会の観覧券をご提示ください
【申込方法】HP の専用フォームからお申込みください。

（3）あーつひろば

坂本舞ニルセンと一緒に七夕飾りをつくる参加型ワークショップです。

【日　　時】7 月 5 日[日]　午後 1 時－4 時
【会　　場】アーツ前橋　交流スペース
【参 加 費】無料

（4）キュレーターによるギャラリートーク

【日　　時】7 月 20 日[月・祝]、8 月 9 日[日]、8 月 22 日[土]　午後 1 時－ 2 時
【会　　場】アーツ前橋　ギャラリー
【参 加 費】無料 ＊当日の観覧券をご提示ください。

（5）おしゃべりアートデイズ

アーツナビゲーターとともに、気づいたことや感じたことなどをおしゃべりしながら鑑賞するプログラム。(所要時間 40 分)
【日　　時】7 月 11 日[土]、8 月 8 日[土]　午後 2 時－
【会　　場】アーツ前橋　ギャラリー
【参 加 費】無料 ＊当日の観覧券をご提示ください。
【申込方法】HP の専用フォームからお申込みください。

※イベントの内容は追加・変更になる場合があります。

プレスリリース
PRESS RELEASE
2026/5/12

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

広報用画像

【1】



【2】



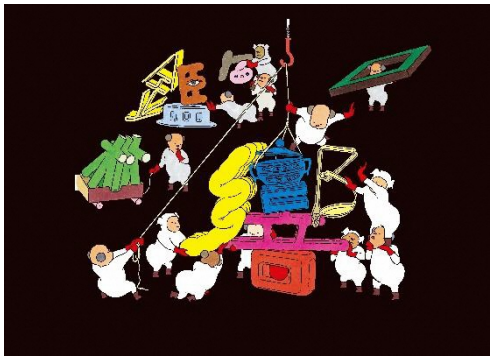
【3】



【4】



【5】



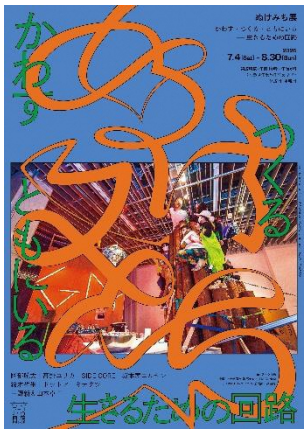
【6】



【7】



【8】



プレスリリース
PRESS RELEASE
2026/5/12

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

広報用図版

広報用画像として本リリースに掲載している画像をご用意しております。
ご希望の場合は、こちらの URL からお申込みください。
https://logoform.jp/form/dWZu/1568658
※お申込み後に、ダウンロード用の URL と PASS をお送りします。

記事掲載についてのお願い

※掲載にあたっては、展覧会名と会期を表記してください。
※画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
※掲載記事や VTR は、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
※取材及び収録等の際は、必ず事前にお問い合わせください。
※画像の使用は本展覧会の広報目的に限り、個人ブログ等への掲載や鑑賞等を目的とする場合には提供できません。

番号	キャプション・クレジット
【1】	dot architects + contact Gonzo「鉄道芸術祭 vol.10《GDP(Gonzo dot party)》」2020 年／写真:吉見崚
【2】	SIDE CORE《rode work ver. under city》2023 年
【3】	高野ユリカ《明るい場所への再訪》2021 年
【4】	坂本舞ニルセン《LOVEBOMB》2024 年
【5】	鈴木哲生『かんじ こびとがつくるもじとことば』2025 年／出版:アリス館
【6】	三野新＆山本卓卓《ここにたち、ここにたつ》2024 年／写真：TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH
【7】	阿部航太×KINO ミーティング「シネマポートレイト」（制作風景）2026 年
【8】	「ぬけみち展　かわす・つくる・ともにいる―生きるための回路」メインヴィジュアル／デザイン：三重野龍

お問い合わせ

アーツ前橋
前橋市役所文化スポーツ部文化国際課
担当：酒井・藤野(広報担当)、 高橋・東(学芸担当)
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 5-1-16
TEL：027-230-1144　FAX：027-232-2016
URL：https://www.artsmaebashi.jp/
Email：press@artsmaebashi.jp

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

交通案内

[公共交通機関]
JR 前橋駅から徒歩約 10 分
上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約 5 分
JR 高崎駅から西口 1 番のりばから路線バスに乗車（前橋駅前行）約 35 分「本町」下車、徒歩約 2 分
JR 渋川駅から駅前 1 番のりばから路線バスに乗車（前橋駅行）約 40 分「本町」下車、徒歩約 2 分

[自動車]
関越自動車道 前橋 IC から車で約 15 分

※Pマークの駐車場のご利用に関しては、駐車券に 4 時間無料の割引処理をいたします。

